

## 2 ごみをへらすための3つのステップ

ごみをへらすためにはどうしたらよいか考えてみましょう。

### 3R スリーアール

①～③の頭文字を取って3Rなんだよ！



#### 1 リデュース Reduce ごみを発生させない！

ごみになる物を買わない、もらわない、最後まで大事に使うなど、ごみの発生をもとからへらすこと。

取り組みのひとつとして

#### リフューズ いらぬものはもらわない！

すぐごみになってしまう物はもらわずに断ること。

#### 2 リユース Reuse くり返し使おう！

買った物を使えなくなるまで使ったり、使ってくれる人にゆずったりすること。

リサイクルにはお金もエネルギーもかかってしまうから、まずはリデュースとリユースで、なるべくごみを出さないようにすることが大切なんだよ！



マイバッグ  
キャンペーンキャラクター  
モッテコちゃん

#### 3 リサイクル Recycle 材料として再利用しよう！

ごみとして捨てずに分けて集めて、新しい製品に生まれ変わらせること。

取り組む順番にもちゃんと意味があるんだね！



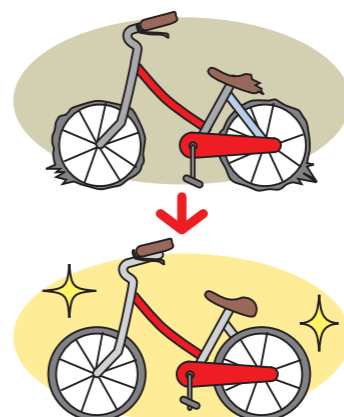
### ① リデュース (ごみを発生させない！)

ごはんは残さず食べよう！！



残さず食べて、生ごみを出さないようにしましょう。

こわれても修理して大切に使おう！！



新しいものを買う前に修理できないか考えよう。

必要な物だけを買おう！！



家にまだあるのに買ったり、よけいに買いすぎたりしないようにしましょう。

リフューズ

「レジ袋はいりません」の一言を！！



レジ袋や使い捨てスプーンはもらわないようにしましょう。

リフューズ

マイバッグを持って行こう！！



買い物に行くときはマイバッグを持ち歩こう。

使い捨ての容器をもらわず、自分の水とうやおはしを使うこともごみをへらす行動のリフューズのひとつだね。



この行動はプラスチックごみをへらすことにもつながる大切な取り組みです。

解説

★ごみを減らす3つのRの意味を正しく理解し、その順番の大切さについて考えさせてください。  
●循環型社会形成推進基本法では、循環型社会の形成にあたって、発生抑制、再使用、再生利用・熱回収、適正処分の順で優先順位が定められています。

解説

★私たちの生活のあらゆる場面でごみを減量する工夫ができることを気付かせてください。  
●ごみ減量をさらに進めるために、リデュース・リユースに重点を置いた啓発・広報を行っています。  
●リデュースの中でも一度使うだけでごみとなるようなものを断るリフューズの取り組みが、プラスチックごみの抑制やごみ減量につながっていきます。プラスチックごみについては、30ページにも書いてあります。